【様式 24】

提　案　の　概　要

施設名：名城公園

団体名：岩間造園株式会社

※複数の団体により構成されるグループは
各構成団体の名称もあわせて記入する。

（1）管理運営全般について

①施設の管理運営に対する方針等

【名城公園の役割】

市民活動の拠点、花と緑の普及・啓発の場としての役割、広域避難場所、広域防災拠点としての重要な役割があり、特別史跡の名古屋城、金シャチ横丁、愛知県体育館と並び名城エリアのポテンシャルを高める拠点の一つとしての重要な役割を担う。

【名城公園の特性】

「利用特性」

花と緑が織りなす都会のオアシスであり、藤を始め四季折々の花や緑を楽しみながら、スポーツ・レクリエーションの場、ボランティア活動など市民活動の場として様々に利用される。

「立地特性」

行政・観光・商業の中核機能が集積し、利便性が良好である立地特性があり、帰宅困難者の一時滞在施設としての活用も見込まれる。

【管理運営の抱負】

当社は、名城公園の役割と特性をふまえ、都会のオアシス「名城公園」を下記の 3 つの柱を中心に魅力的な管理運営を行う。

キーワードと方針	特別史跡の名古屋城に隣接したシンボル公園

1 名古屋城を背景に四季折々の表情が楽しめる公園

- 名古屋で一番美しい藤の回廊を目指して
- 名古屋城下に樹冠が広がる景観の保全
- 天守閣を望むビュースポットの適切な管理

2 名古屋一級の歴史・観光・文化・スポーツの拠点としての公園づくり

- 名古屋の歴史的・文化的資産と一体化したエリア、新たなスポーツの名所（愛知県新体育館）、tonarino 等と連携した調和する公園づくり

3 市民の活動の場として愛される公園

- 市民のコミュニティ形成
- 地域連携・イベント
- 災害時の防災拠点として認知される取組み
- 新旧名所の要として利用者サービスの向上を図る

【維持管理方針】

施設管理安全第一で名城公園の利用特性と利用者のニーズを踏まえ、“もてなしの心”で管理

- 安全確保の点検・危険箇所の把握と情報収集
- 一定水準より下回る前に回復処置を講じる「予防保全」を実施
- 公園清掃は、桜の季節・ＧＷの土日祝日と、三連休）には清掃回数を追加して清掃
- 便所清掃は、繁忙期には、毎週日曜日の清掃回数を増加（但し、二の丸東駐車場便所は、１日２回の清掃、多客期においては、１日の清掃回数を増やし、良好な状態を維持）
- スタッフ一人ひとりが考える“もてなし”の形やちょっとした気配りを実践

環境対策環境や利用者の健康に配慮した低農薬・無農薬の植物管理を実施

- 農薬をできるだけ使用せずに病害虫の発生・被害を抑える管理を実践
- 温水除草システムにより、薬剤を使用せずに除草

植物管理管理目標を定め、植物の特性や公園の利用状況を見極め、常に良好な景観創出を図る

- 雑草の生育期には毎月の除草を徹底し、結実による繁茂を予防
- 樹木点検（枯枝や掛かり枝）を実施、樹木医や植栽基盤診断士による診断
- 藤、桜、花菖蒲、サツキ、ツツジ等象徴的な花木の花付を良くする管理
- ビュースポットや園内の名所の周辺の美観を向上させる管理

【名城公園のめざす公園像に資する提案】

名古屋城という名古屋の歴史的拠点を支える品格ある景観を守り、四季折々の花や緑の管理、防犯や安全や景観に配慮した管理、防災拠点としての適切な管理運営により、地域の安全・安心とやすらぎ、そしてアイデンティティーをはぐくむ公園管理

1 「四季折々の花や豊かな緑」に資する提案

- 花の山境界やせせらぎ沿いやジョギングコース（花の道）など人目が多い場所を多年草の花で修景
- ボタニカルマルシェ「Go Green Market」を継続開催
- 都会の木々や緑に囲まれ、体験・発見する各種イベント（自然観察会等）を実施
- 公園利用者だれもが花や緑に触れる機会を提供する取り組みを継続

2 「名古屋の歴史的拠点を支える品格ある景観」に資する提案

- 花菖蒲、カキツバタの管理に関しては専門家の指導を受け、美しく多くの花を咲かせる管理を実施
- 名古屋で一番美しい藤の回廊を目指して花付きをよくする管理を実施
- フジの「花付き改善に向けて」、藤の管理指導の実績のある樹木医と、藤の管理を実施

3 「人々の遊び、憩い、スポーツなど様々な利用」に資する提案

- コンサート等イベント時、フラワープラザの開館時間を延長（園内の防犯上のメリットもあり）
- アメニティー空間（シャワー付き便座や授乳室）を充実、コインロッカー設置を検討
- 野球場等スポーツ施設の利用者や“名古屋ランニングの聖地”としてランナーが心地よく利用できるように利便性を向上
- 花の道をはじめとするコースに沿って、花による修景や清掃、凸凹や水はけ不良箇所の簡易補修などをランナー等市民と一緒に行う「（仮称）ランニングコースを彩るリフレッシュ・ラン！」を開催

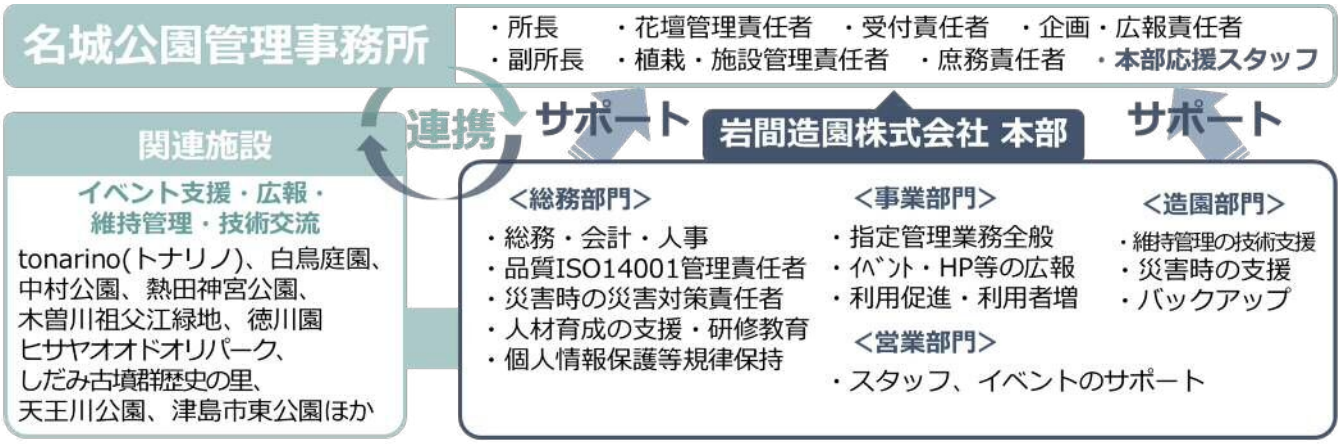
4 「災害から周辺住民の命を守る」に資する提案

- 災害ベンダー付き自販機の設置（Wi-Fi 機能搭載）を、追加エリア（南遊園）に設置
- 発災時には、Wi-Fi 設備や手動によるスマホの充電サービスを提供
- 災害発生時の緊急対応拠点としてお客様の安全確保に努める
- 災害用ベンチ、仮設トイレなどの防災設備を充実し、使用方法を防災イベントで周知
- 愛知学院大学の学生消防団など近隣の学生ボランティアとの連携体制も構築

②管理運営体制

【組織・人員の配置・体制】

本部及び、管理事務所との明確な役割分担のもと、イベント運営時には、本部や施設同士が相互連携し、各種の情報共有や応援、講師派遣をいたします。



【人材育成方針】

当社は、公園を管理運営能力、業務全般に対処できる「マルチスタッフ」の育成を目指し、植物管理・施設管理・設備管理に関する知識と技術の習得のために必要な研修プログラムを積極的に実施します。

項　目	内　　容	職種分類	回 数
接　遇	サービス向上・ハートフルな接客	全スタッフ	年１回
技術・専門	植物管理、造園技術者の能力向上、公園施設(遊具)点検研修、指定管理者合同研修	維持管理スタッフ	年２回
緊急時対応	防災訓練・緊急時の対応訓練・AED 講習研修	全スタッフ	年１回
市民協働	プログラム企画や能力の開発、マニュアル作成	全スタッフ	随時
基礎的技術習得（OJT の実施）	管理運営方針の確認やマニュアルの作成により、日常業務を円滑かつ効率的に遂行 スタッフミーティングによる情報共有	全スタッフ	随時
スタッフミーティング	スタッフミーティングによる情報共有 作業や連絡事項の共有	全スタッフ	毎日
コンプライアンス	法令遵守教育、個人情報保護の徹底した指導	全スタッフ	年３回
パークマネージメント	(一財)公園財団が主催する講習会への参加	所長・スタッフ	年１回
	公園管理運営士会による情報交換・講習会参加	所長・スタッフ	年１回

【緊急時の対応】

大規模災害時には、初動対応としてお客様の避難誘導・安全確保、園内・施設の点検を行い、広域避難場所、広域防災拠点として、市の各関係機関との連携を図ります。

- 防災マニュアル作成と防災訓練・情報伝達訓練により発災時に迅速に対応
- 地域の防災・減災対策の推進拠点として、自主防災組織や住民と防災訓練等を実施
- 避難者や帰宅困難者への対応について名古屋市と共有
- 市民・地域と連携したサバイバルキャンプで地域防災力アップ

【施設の修繕】

経年劣化などによる部品交換等が見込まれる場合は事前に更新するなど、予防保全を基本とし、修繕の緊急度に従い、計画的・効率的に修繕を実施します。

- 他の指定管理公園の所長などによる多角的視点でチェックを実施
- フラワープラザ内トイレをシャワー付便座に交換
- 木製Ａ型ベンチをリニューアルするなど、既存の施設をこまめに修繕

（２）実施業務の計画について

①指定管理業務

【利用者サービス向上】

- 利用者の目線に立った接客マナーとプライバシーマーク制度の活用
- 子どもをはじめ利用者とのコミュニケーションツールの活用
- ランナーの利用マナー普及啓発、愛犬家の交流ネットワーク構築支援、マナー普及啓発
- 公園利用者や地域住民と意見を交換する懇談会を開催
- 屋外トイレのシャワー付き便座を新たに設置
- お子さま連れの利用者が安心・気軽に利用できる授乳室をアトリウムに設置
- 夏季の熱中症対策として、ミスト扇風機の設置を継続

【市民ニーズ・要望等の把握】

市民ニーズ要望等の把握

巡回時におけるコミュニケーションをはじめ、アンケートやご意見箱、電話、窓口等による意見情報を収集し、PDCA サイクルに基づき分類・分析・業務に反映することで要望・市民ニーズを把握し、利用者満足度の向上によるより良い公園経営につなげる。

公園利用者や地域住民と意見を交換する懇談会を開催

公園利用者、学区をまたいだ市民、公共施設や大学、tonarino 店舗支配人、ランナー代表者、地元住民等とのコミュニケーションの機会として懇談会を開催し、日頃から感じている事柄や安全管理上の情報共有よりよい公園と地域にとっての話題など積極的に対話を図る。

【名城公園特有の管理方針】

- 一年中美しい花壇と草花の配植デザインを工夫し、創造性あふれる提案型の花壇
- いつ来てもきれいな花壇、思わず写真を撮りたくなる景色を意識した管理
- ビュースポットの表示など撮影場所の演出を実施
- tonarino 店舗など他施設との連携による緑の普及啓発や SDGs 関連の普及啓発を実施
- 公園利用者だれもが花や緑に触れる機会を提供する取り組みを継続して実施
- 名古屋城天守閣を背景におふけ池を彩る花菖蒲、カキツバタの管理
- 名古屋で一番美しい藤の回廊を目指した花付きをよくする管理

【魅力増進・利用促進】

- 芝生広場を流れるせせらぎは、石の欠損箇所を補修し、花が楽しめる植物で修景
- ベビー専用のおむつ交換ベッドや授乳室を設置し平日の利用促進と子育てを支援
- アトリウムをを背景にしたコンサート等の季節のおもてなしイベントを実施
- 展示会を年間 20 回程度、講習会・利用プログラムを年間 50 回程度の開催

講習会	内容
子ども教室 ＊地域連携で実施	**NEW 子ども向け講習や夏休みのオムニバス講習会** 「（仮称）植物画の子ども向け講習」 「（仮称）夏休みオムニバス講座」など
グリーン教室	**寄せ植え、コケ玉等季節を楽しめる講習会** 「初夏の寄せ植え～日陰のお花～」 「四季のコケ玉作り」
専門教室 ＊連続プログラム	**名古屋伝統の専門的な技術や知識を学べる講習会** 「山菊（小菊）の盆栽を作ろう・大菊を育ててみよう」 「名古屋朝顔の育て方教室」など
お気軽講座	**初めてでも簡単にできる花や緑を使った講習会** 「園芸お気軽講座～紫陽花の寄せ植え～」など
趣味の教室 ＊屋外利用+α	**花や緑を題材にした趣味を活かした講習会** NEW「バードウォッチング入門」屋外も積極的に活用 NEW 自ら陶芸した鉢に花の寄せ植えを仕上げる講座

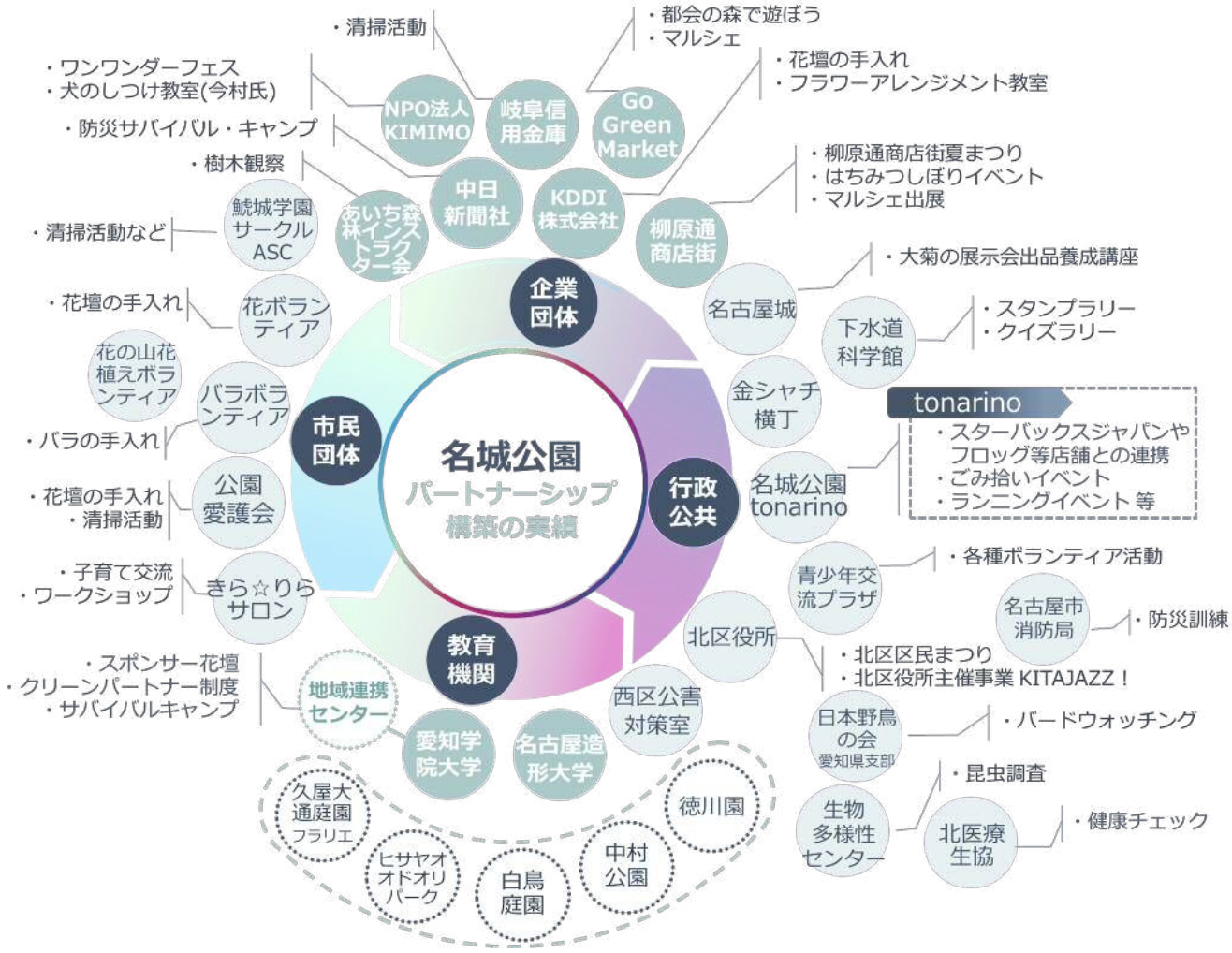
【広報・PR】

- スタッフが日常の名城公園を紹介するため、インスタグラム等の各種 SNS で発信
- 広報なごや、新聞、テレビ、ラジオ・タウン誌などの各種広報媒体への営業活動

【協働（パートナーシップ）】

名城公園が地域をつなぎ、様々な出会いを創出する場として捉え、隣接する愛知県新体育館、tonarino などと新たな取り組みを実践する。

- tonarino ビーチバレーボールツアー名古屋大会など大会やイベントの後方支援
- 愛知県新体育館との連携（コンサート開催等の夜間利用時の協力やイベントを連携開催）
- 愛知学院大学地域連携センター（学生サークル AGU ボランティアセンター）との連携
- 名古屋造形大学と連携し、講座の実施、公園独自のノベルティグッズを共同制作
- 柳原通商店街、企業、行政・公共施設等との連携



②自主事業

【収益事業のメニューと運営方針】

公園利用者のニーズを考慮しつつ公園経営の視点に立った効率的で収益性の高い事業として、以下の自主事業の収支計画を立てています。

自動販売機の設置

- 多言語化対応のフリーWifi を整備

駐車場

- 人出が予想される際は警備員を駐車場入り口に配置
- 混雑時はトナリノ・愛知県新体育館と連絡を取り合い適切に誘導

喫茶コーナーの活用

- 新愛知県体育館完成供用後、催し物開催時に「花カフェ」営業時間延長

賑わい創出イベント

- ケータリングカーや地元飲食店による物販販売等マルシェ出店
- 12、2 月の閑散期に賑わい創出イベントを tonarino と共同開催
- 愛犬家との交流、犬連れマナーの普及啓発イベントを実施

地域防災力の向上

- 市民や学生消防団、近隣施設等と協働した防災イベントを実施

＜収益還元＞

当社は、利用者サービスを拡充することで、収益の還元につなげる。

項　　目	還元率	具体的な還元
●駐車場の管理運営の収益 ●喫茶コーナーの収益 ●自動販売機などの収益 ●企業協賛金や出店・出展費の徴収（展示会の協力金を含む） ●指定管理者が独自で行う収益事業	５０％	●樹名板の設置費用に還元 ●花菖蒲・カキツバタの補植 ●フジ・桜の樹勢回復 ●樹林保全に還元 ●園内各所の花壇スペースの花苗植えに還元 ●ボランティアの活動資金に還元 ●講習会等の費用に還元 ●小規模施設等の修繕費に還元 ●広報及びパンフレット作成・印刷費に還元 ●公園の魅力アップにつながる事業に還元 ●シャワー便座設置、アメニティの充実（授乳室）
●企業のCSR からの資金確保	金額に応じて還元	

（３）収支計画について

①管理運営にかかる費用等

＜各年度ごとの提案総額（各年度ごとの総計）＞

令和６年度	147,000 千円
令和７年度	147,000 千円
令和８年度	147,000 千円
令和９年度	147,000 千円

＜期間を通じた収支計画（指定期間を通じた項目別内訳）＞

【収入】（単位：千円）

区　分	金　額
指定管理料提示額(A)	588,000
行為許可利用料金（撮影）(B)	1,120
収益事業還元金(C)	2,360
収入合計	591,480

【支出】（単位：千円）

区　分	金　額
人件費	199,880
光熱水費	67,080
管理費（植物管理費等）	261,664
事務費（備品購入費等）	62,856
支出合計	591,480

【経費削減の取組み】

- 可能な限り直営管理とし、マルチスタッフを育成、専門性の高い業務は、専門人材を派遣
- 防草シートによる雑草を抑制するほか、温水除草、温水高圧洗浄など新技術の活用
- 壁面緑化を積極的に実施、電灯を消灯し光熱費を削減、ESP 方式の活用による電気代の削減
- 物品・資材については、他公園との一括発注により経費を削減
- 園内で発生する剪定枝をチップ化して園路や植栽のマルチング材として活用